

学 園 だ よ り

太 白 山

(令和2年1月発行)

宮城県さわらび学園

〒982-0215

仙台市太白区旗立2丁目4-1

TEL : 022-245-0333

FAX : 022-245-0515

<http://www.pref.miyagi.jp/sawarabi/>

学園ホームページもご覧ください

令和元年度さわらび学園祭

実行委員長 今野直子

夏休み明けからの約二か月間、太鼓や合唱、意見発表、陶芸や切り絵製作など、様々な準備をしてきました。

中でも意見発表は、学園生活を振り返り自分のことを書くという少し気持ちの苦しい作業から始まり、大勢の前で発表するという不安と緊張の大きいものです。練習期間には焦りや怒りなど様々な感情が動く中で行き詰まる子どももいましたが、練習を積み重ねる中で少しずつ自信を持っていきました。学園祭当日、子ども達はそれぞれに練習の成果を見せてくれました。終了後の子ども達の顔には安堵した表情と共にやりきった達成感があふれていたように思います。

また、恒例となっている子どもと職員全員での合唱は、熱心に練習を積んだ子ども達の声に助けられる形で、何とか職員も歌い切ることができました。子ども達の力に感謝し感動の中で学園祭を無事終えることができました。

お忙しい中、御来場いただきました保護者・地域・関係者の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。引き続き、子ども達の成長を見守って

いただきました。お願いいたします。

「学園祭を振り返って」

A・R

学園祭本番で頑張ったことが四つあります。

一つ目は意見発表です。練習の時にI先生からアドバイスされた「前を向いて発表する」ことを意識して、前を見て大きな声で発表できました。

二つ目は太鼓です。太鼓で分教室の先生方から「飛ぶところをちゃんと手を上げた方が良い」とアドバイスされた。本番では意識し、そして全力でやりました。

三つ目は合唱です。先生方に言われた「前を向いて大きな声で歌う」ということを守り、綺麗に歌うことができました。

四つ目は集中力です。誰か話をしている時、以前なら静かにできなかったけれど、今回、初めての学園祭では静かに聞くことができました。

そして、今回学園祭の準備をしてもらい本当にありがとうございました。これからの生活では、学園祭で学んだことを意識して生活していきます。

学園祭の記録写真

緊張しました。でも精一杯頑張りました。



最後まで、見守ってくださいありがとうございました。

来場ありがとうございました。

修学旅行(中学部)

三学年担任 佐々木信太郎教諭

三年生は、東京・横浜方面に修学旅行に行ってきた。『メリハリ〜楽しい思い出を作ろう〜』というスローガンを掲げ、学級目標の「NO LIMITS〜人を認め、最後まで〜」を意識して、活動することができました。研修場所への移動は、徒歩が多く大変でしたが、各研修先では、ゆったりと充実した時間を過ごすことができ、生徒たちにとって楽しい思い出になりました。

修学旅行の行程を紹介します。

【九月十一日(水)】

○和なり屋

・藍染め体験では、店長さんの楽しい説明を聞きながら、ハンカチや手ぬぐいを染めて持ち帰りました。

○東京デイズニールランド

・まず、全員で記念写真を撮り「カリブの海賊」に乗りました。その後は、2つの班に分かれて、計画に沿ってアトラクションを楽しみました。

【九月十二日(木)】

○ダイバーシティ東京

・ユニコーンガンダムの前で記念写真を撮りました。

○フジテレビ

・めざましテレビのセットで記念写真を撮りました。

○Sizzler JAPAN

・世界に展開するサラダバー&グリルレストランで満腹になりました。

○MEGA WEB (トヨタ)

・車の運転技術と知識を学びました。

○チームラボボーダレスお台場

・今話題のプロジェクトマップピングの不思議な世界を楽しみました。

○屋形船 あみ幸

・東京湾をクルーズしながら美味しい天ぷらを頂きました。

【九月十三日(金)】

○雷5656会館

・雷おこし作りを体験して、できたて熱々のおこしを味わいました。

○浅草寺参拝・仲見世散策

・みんなでおみくじを引きました。

当日の写真等



修学旅行(小学部)

小学部担任 播磨凌教諭

小学六年生は、一泊二日で宮城県松島・仙台沿岸方面に修学旅行に行きました。修学旅行の目的として、①施設や自然から学ぶ。②公共のマナーやルールを守る。③先生と仲良く活動し、楽しい思い出をつくる。の三点を心掛けて活動しました。台風の影響により、事前の計画から方面や見学地の変更がありました。児童は臨機応変に対応し、一つ一つの活動に意欲的に取り組みました。二日間の行程を紹介します。

【九月九日(月)】

○JR仙石線で松島海岸駅へ移動

↓公共のマナーを守り静かに移動。

○利久松島店

↓仙台名物の牛タンを味わう。

○瑞巖寺

↓本堂を参拝。豪華な内観を見学。

○みちのく伊達政宗歴史館

↓伊達政宗の生涯を学ぶ。

↓こけしの絵付け体験を行う。

【九月十日(火)】

○仙台うみの杜水族館

↓バックヤードツアーでアシカと握手。海の動物との触れ合い体験。

○震災遺構仙台市立荒浜小学校

↓被災した校舎の被害状況を見学。

○阿部蒲鉾店

↓笹かまぼこの手焼き体験。

修学旅行中、児童は様々な施設の見学を通して仙台の歴史や文化を学び、海の生き物と触れ合いながら自然と親しむことができました。公共の場では周囲の迷惑にならないように意識して行動しました。教員の指示もしっかりと聞いて、楽しい思い出をつくることができました。

修学旅行の写真



FASカップ（南三県交流大会）

（野球）

野球部コーチ 大野聖太郎

地区大会からFASカップまで、新たなチームを作ることを考え、練習にあたってきました。キャプテンが替わり、守備位置も変わりと、チーム全体の雰囲気も一新しました。練習当初は、上手いかなということが多くあり、まともにいけるのだろうかと不安を感じていました。しかし、今年の野球部のテーマであった「生活野球・全員全力野球」を意識し、少しずつまとまっていく姿が見られました。

大会当日、初戦は朝日学園（山形）戦では二十一対〇で勝利、二試合目の福島学園（福島）戦では二対〇で勝利し、見事優勝することができました。チームとして初めての勝利、そして優勝することができ、ベンチでは子どもも大人も大興奮でした。

年度当初、何も分からないなか、野球部のコーチとなり、子どもと一緒に成長してきました。ここまで練習に取り組んできたことが、少しでも生活のなかで活かすことができれば良いなと考えています。コーチとして子どもの成長を見ることができ、嬉しかったです。

「FASカップの感想」

A・R

今回のFASカップは優勝しました。優勝した理由は、自分を含め集中して全力プレーをして、和を乱さなかったからだと思いました。このFASカップまでいっぱい練習しているいろいろなことを教えてもらいました。

①全力野球です。理由はただだらやっていると上手くならないからいっぱい教えてもらいました。

②生活野球です。生活が悪いと協力することができません。でも、生活をしっかりして野球をするとう協力もできて仲良くできて、上手くなるからたくさん教えてもらいました。

③全員野球です。一人でも抜けると抜けてしまった人が上手くならず、みんな野球をして楽しくできれば良いと思いました。

これからは人数が少なくなるので、声を全力で出して協力をしあい、仲良くすると良いチームになると思っています。

これから自分を含め、全力野球を頑張ります。



バドミントン

バドミントン部コーチ 伊藤仁人

本年度は、ほとんど児童一人での活動になったバドミントン。本来ならば心が折れてしまいそうな状況でも、頑張り抜いたことは素晴らしいです。また、そういう状況を見て多くの学園、分教室の先生方が相手をしてくれました。きつといろいろな人に支えられて自分があるということを感じてくれたことと思います。

試合が近づくにつれ、だんだん目の色が変わり、勝つために頑張るという本格的な活動になったこと。すごいなあと感じて見えていました。

そのような努力を発表する舞台、FASカップ。多くの学園が団体を組まず、学園対抗ではなくなりましたが、みんなが一生懸命に勝利を目指して頑張る姿には感動を覚えました。また、私にとっては試合後に一緒に打てたことも良い思い出になっています。

また、今回は宮城開催であり、女子で参加賞のしおりと入賞時の盾を作りました。クオリティが高い素晴らしい作品ができました。大変だったと思います。よく期日までに完成させたなあと驚いています。お疲れ様でした。今回の活動を通して、努力すること

の大切さといろいろな事象に対する感謝の気持ちを身につけられたと思います。今回の貴重な経験を日々の生活に生かして、さらに成長できるように頑張っていけます。

「FASカップの感想」

A・N

九月二十五日（水）、私は緊張していました。なので余計なこと（他の県に行きたかったとか相手はやばいかなとか）を考えて気持ちをまぎらしていました。それでも緊張が抜けません。嫌な予感も感じていたのですが・・・その予感は見事に当たりました。負けました。悔しかったです。男子は優勝をしていたのに、自分個人も団体も結果を出せず何をやっているんだと思い、男子と同じ空間にいたことが恥ずかしくなりました。でもそれもすべて自分の実力なので、受け止めて、次の機会に結果を出せるよう頑張っていこうと思っています。

「すみれ寮」

すみれ寮長 間宮弘美

今年度すみれ寮は、高校生二名、年長生一名でスタートしました。当時のメンバーで今年度スローガンを話し合い「やる時はやる〜継続〜」と決めました。夏に高校生一名が退園し、現在は二名の生活です。

一名は週に一回通信制高校に通いながら、平日は年長活動に取り組んでいます。一名はアルバイトをしながら就労し自立することを目指しています。それぞれの目的に合わせて、個別の活動が多くなっています。

そういった中で、寮活動では畑仕事、環境整備、寮内清掃等の作業、スポーツ活動と取り組んで来ました。

寮で過ごす自由時間はリラックスタイムになっていくと思います。一番多い過ごし方はテレビ視聴です。今年度の特徴は、二人がそろそろ自由時間には、職員も入り一緒にトランプをすることも多くあります。

二人の休みに合わせ、社会見学も実施しました。夏には釣り堀りへ行き、その後海水浴場で波と戯れました。冬にはバッテリーセンターとボウリングをしました。アクティブに楽しんで来ました。二回とも食べ放題のレス

トランで昼食をとりましたが、デザート三昧スイーツをたくさん食べました。寮生活の一コマを紹介します。



この日は二人そろっての作業。落ち葉集めです。

休日の朝、漢字テスト前に新聞を見ています。



活動の時はしっかり活動し、休養も大事ですからゆっくり休み、自分たちで決めたスローガンのようにメリハリのある生活をしてほしいと思います。それは退園後にも活かし、頑張りすぎず、自分でコントロールしながら程良いところで安定した生活ができるようになってほしいと思っています。

家族支援担当から

小指 梨沙

令和も始まったばかりと思っていました。令和二年目を迎えました。今年度から家族支援担当になり、昨年は業務に慣れるのが精一杯だった一年でした。今年も気持ちを新たに頑張りたいと思います。

家族支援担当になり、改めて御家族や関係者の方々がいかに子どもたちを支えているかを実感しています。なかなか面と向かうと素直に慣れない子どもたちも多いかもしれませんが、面会の予定が入るだけで表情が明るくなる子がほとんどです。また、家族との面会や帰省が励みになり、「またお家に帰れるように頑張りたい」と学園生活をより頑張ろうとする子もいます。このような子どもたちの姿を見ていると、寮職員から褒められること、もちろんですが、家族から褒められること、家族が喜んでくれることが何よりも子どもたちの力になるのだと思います。いつも思い知らされます。当時は、お互いに良い方向に向かいたいという気持ちは同じなのに、すれ違ってうまくいかなかったこともあったかもしれません。しかし、入所後、離れてみ

て気づくこともあるのだと思います。学園生活は、これから再び家族と一緒に生活するための準備期間です。離れても家族や支えてくれる人がいる、それだけで子どもたちは大変な学園生活も乗り切れます。これからも子どもたちとご家族がよりよい生活をできるように、コーディネート役として精一杯尽力していきたいと思っています。

今後の予定

- ・ 一月十七日 新春スポーツ大会
 - ・ 二月四日 私立高校A日程一般入試
 - ・ 二月六日 私立高校B日程一般入試
 - ・ 二月二十八日 卒業証書授与式(分)
 - ・ 三月四日 公立高校入試
 - ・ 三月二十四日 修了式(分)
- ※分…分教室行事

☆編集後記☆

あけましておめでとうございます。さわらび学園にも雪が積もりました。これから冬本番になります。

今年もさわらび学園の児童、職員一同をよろしくお願いたします。

